

令和 6 年度第 1 回古賀市総合政策検証会議 事前質問及び回答

令和 6 年 7 月 2 2 日

資料	ページ	質問	回答
資料 1	5～6	<p>基本事業：多文化共生推進事業</p> <p>前提として、古賀市として外国人の受け入れについてどのような立場か教えていただけると幸いです。外国人の移住を推進するという方針なのか、また、その際、どのような外国人（国籍、職業など）の受け入れを念頭に置いているのかが気になりました。</p> <p>その上で、多文化共生支援事業や多文化交流促進事業はどのような古賀市の未来に資するものでしょうか。たとえば、工業に従事する外国人の移住を促進しているのか、農業に従事する外国人の移住を促進しているのか、あるいは、そもそも移住の促進政策はとっておらず、単に外国人住民との相互理解の促進（摩擦を減らすこと）が目的なのかで、政策の評価が異なるのかなという気がしました。</p>	<p>本市として、外国人の受入は前向きですが、委員ご質問の移住を推進するところまでの状態ではございません。国籍や民族など異なる人々であっても、「同じ地域に共に暮らす一員」として、国籍や民族、文化の違いを知り、認め、尊重し合いながら、外国籍市民等を含む市民誰もが社会の構成員として自分らしく、安心して暮らせるまちの実現を市の方針と位置付け、さまざまな取組を実施しています。</p> <p>多文化共生支援事業や多文化交流促進事業により、外国籍市民等を含む市民誰もが安心して自分らしく暮らせるまちの実現をめざしています。</p>